

(添付) 第 12 回 FJCCIA 対話 提案要点

1. 貿易円滑化にかかる提案

【①電子化措置によってもたらされる便益の最大化】

- ・国境貿易措置に優先順位付けをした、CLM 諸国における電子認可・署名手続きの早期導入
- ・ASEAN 貿易レポジトリ上での、e-Form D、その他電子書類の運用状況(不具合、対応措置等)の即時共有
- ・Form D、e-Form D、自己証明制度の選択的な利用を可能にし、また周知するような運用上の証明手続き(OCP)の着実な改定、ユーザーガイドライン策定
- ・自己証明制度の導入に際し、原産性判定の根拠資料として使えるような域内共通原産地判定表の策定検討

【②法令順守を促すような制度的・技術的枠組みの検討】

- ①貿易円滑化恩典の付与のための「ASEAN 優良コンプライアンス企業」制度の導入、②コンプライアンスコスト削減の観点での ASEAN シングルウィンドウ高度化に向けたブロックチェーン等デジタル技術の導入検討を含む、関連部局横断での議論の開始

2. 労務環境・産業人材育成にかかる提案

【①第 4 次産業革命に向けた準備作業としての適切な産業人材育成】

- ・「第 4 次産業革命に向けた熟練労働者・専門サービス業人材育成ガイドライン」の策定に寄与するような産業人材のギャップ分析調査の共同実施

【②生産網の透明性確保のための ASEAN 独自の規律整備】

- ・労務管理における、ASEAN ルールを各国法制度に反映させるメカニズムの明確化
- ・国際的スタンダードを参照しつつ、ASEAN 独自の、実施可能な労務関連規律整備に向けた合同 WS の開催
- ・自由貿易を更に促進するための、日・ASEAN 包括的経済連携協定(AJCEP)における、労働章の設定

3. 適切なデータ管理体制構築にかかる提案

【規制対象の明確化・調和、過度な規制の排除】

- ・データ分野において、投資促進に資する形での規制対象の明確化、調和
- ・地域データガバナンス行動計画の形成や、データ関連契約ガイドラインの紹介を含む、ASEAN 合意事項を各国法制度に反映させるための産官合同会合の開始。

【WTO や G20 等のグローバル標準形成への関与の強化】

- ・全 ASEAN 加盟国における WTO 電子商取引交渉への早期参加
- ・RCEP や AJCEP を含む主要 ASEAN+1 FTA における、一貫性のあり質の高いデータマネジメントに関する規律の整備

以上